

- ・ 自発的な開眼 / 発語 / 合目的動作のいずれかを認めれば「覚醒あり」
- ・ 開眼がなくても、指示に合う動きや場に合った発語があれば評価に反映

呼名 大声 有害刺激（爪床圧迫など）。刺激の種類・部位・持続を記録し、同条件で比較。

段階	反応（要約）	記録のコツ
-A	強い有害刺激で合目的動作	左右差・刺激条件を併記
-B	定位・払いのけ（刺激部位を狙う）	逃避と混同しない
-C	逃避（刺激から引っ込める）	回避のみを記録
-D	異常屈曲（除皮質）	屈曲優位を明確に
-E	伸展（除脳）またはほぼ無反応	伸展 / 無反応を明確に

-A：強い有害刺激で合目的動作	-D：異常屈曲（除皮質）
-B：定位・払いのけ（刺激部位を狙う）	-E：伸展（除脳）またはほぼ無反応
-C：逃避（刺激から引っ込める）	